

出張報告届

令和7年 9 月 10 日

吹田市議会議長様

会 派 名 自民党吹田・無所属の会

代表者氏名 白石 透

出張者氏名 白石 透.....

.....
.....
.....
.....
.....

下記のとおり出張したので届け出ます。



記

出張先	札幌文化芸術劇場hitaru（北海道札幌市中央区）
期間	令和 7年 8月 27日から 8月 28日まで 2日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	第20回 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

第 20 回 全国市議会議長会研究フォーラム IN 札幌

日程：令和 7 年 8 月 27 日（水）・28 日（木）

場所：札幌文化芸術劇場 hitaru

講師・パネリスト

伊吹 文明	元衆議院議長
辻 陽	近畿大学法学部教授
牧原 出	東京大学教授
白石 洋一	読売新聞東京本社政治部次長
山下 節子	山口県宇部市議会議長
長内 直也	北海道札幌市議会議長

基調講演では元衆議院議長の伊吹 文明氏の大変深い議長としての裏話的な経験談を語られた。我々が見聞きしているのは一部の報道の一部分だけであるが、実のところその背後には各人、各様の経緯な

どがあり、その調整などには大変苦労されたとの内容があり、私も10年程の議員活動であるがわかるような気がした。日本という国の衆議院議長としてのその責任が大変なプレッシャーになったことは容易に伝わった。

さて、パネルディスカッションの議題は「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」とのテーマで私の所属している吹田市議会とはいささか異なるかもしれない。

中核市、政令市などの規模の比較的大きい自治体とは異なり、地方議員のなり手不足は深刻であるとの内容であった。

なり手不足の主な要因として若者や女性、会社員などが立候補するにあたり環境整備がなされていない事、議員定数・議員報酬のあり方などがディスカッションされた。

具体には議員は続けていける保障がないこと（任期）から、例えば会社員と比較すれば健康保険、年金、退職金など勤続しても経済的に不安定なこと、公人としての立場からいろんな面で制約などを感じること、女性の場合、出産や育児など男性と共同だとされてもまだまだハードルが高いなど、意見が出た。一方、山下さんの話の中である女性議員が当選と同時に出産が重なり、男性議員から「出産がわかって

いるのに、なぜ立候補したんだ？」などと言われた例を挙げたり、「もっと立候補出来る年齢を下げるべきとの話には、社会経験があまりないうちに議員になるのはいかなものか？」などの会話がなされた。

私個人の意見になるが、個人的に会社員を30年続けてから議員になったので廃止された議員年金について、若くして議員専業で議員をされている方に将来の年金についてどうなのかと、大きなお世話であると思うが？・・・。

また別の案件で「ふるさと納税と同じような感覚で、そこに居住していなくても議員として活動できないものか？」などの話もあった。

議員は地元の代表者（代弁者）との考えからは無理があるが、議員不足の観点からはヒントがあるのでは？とも感じた。

パネルディスカッションから、私の印象に残った言葉は「議会として情報発信に意義はなく、市民との共有（共感）が大事なのではないかとの発言が残った。